

「日々の理科」(第1788号) 2019-6-1
水彩画教室「鷹繫山(たかつなぎやま)」
お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

鷹繫山(たかつなぎやま/ようけいざん)は、北軽井沢の東端にある独立峰です。浅間山よりもずっと古い火山で、浸食が進み、山頂は双耳峰になっています。この山は県道からもよく見えます。私は何度も登りましたが、山頂からの眺望に乏しく、どちらかといえば地味な山です。しかしこうして眺めていると、不思議とまた登りたくなってきます。



これが完成した絵です



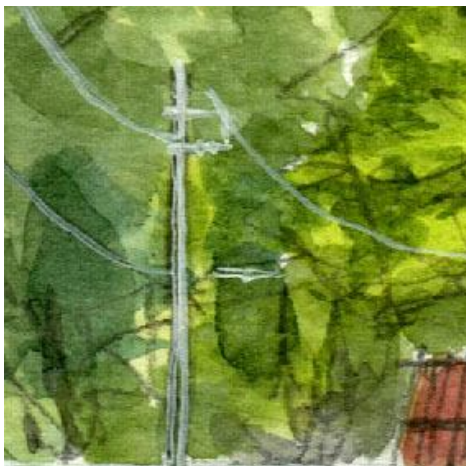
1、主題の鷹繫山は、青緑色ですが、少しでも立体感を出せるように、塗り重ねます



2、背後の樹木は、新緑のカラマツです。あまり濃く描きすぎないように注意しました



3、左手の建物は、実は鉄工所の倉庫です。この風景には似合わない建物ですが、そのまま描きました



4、電柱は省略しても良いのですが、遠近感を出すために、そのまま描きました



5、右側の民家は、屋根や窓枠の角度をしっかりと見ながら、丁寧に描きます



6、黄色の中央線も大切です。もう少し薄い色でもよかったです